

2022年6月30日

各 位

株式会社 北日本銀行

きたぎん SDGs 経営サポートによる「SDGs 宣言」策定支援について ～株式会社 宮城総合給食センター～

株式会社北日本銀行（頭取 石塚恭路）は、取引先企業さまの SDGs への取り組みを評価分析し、SDGs 経営を支援する「きたぎん SDGs 経営サポート」を取り扱っております。この度、本サービスのうち Basic（基本版）を通じて、株式会社 宮城総合給食センター様（代表取締役 津田孝）が SDGs 宣言を策定されましたので、下記の通りお知らせいたします。

今後とも当行は、取引先企業さまの SDGs の取り組みを支援し、持続的な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 会社概要

会 社 名	株式会社 宮城総合給食センター
所 在 地	〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷字京原 101
代 表 者	代表取締役 津田孝
業 種	炊飯米製造販売及び加工品の販売、菓子の製造販売、パン販売

2. 重点項目



3. きたぎん SDGs 経営サポートについて

取引先企業さまの SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) への取り組みを促進するため、取引先企業さまの SDGs の取り組み状況を確認し、優先課題を決定した上で、目標設定を行うこと (Basic: 基本版)、また、サプライチェーン分析による事業活動の流れと SDGs 貢献度を分析し、未来志向の目標設定 (Progress: 発展版) をお手伝い致します。

以 上

[本件に関するお問い合わせ先]

営業統括部 事業コンサルティング室 (担当: 佐藤弘滋) TEL: 080-8603-1669

企業概要



株式会社 宮城総合給食センター

代表取締役 津田孝

(所在地：宮城県仙台市)



当社について

当社は、宮城県仙台市に本社を置き、県内の小中学校の米飯のほかに外食産業、スーパーマーケットの米飯を毎日製造しております。

たくさんの人々に美味しさを感じていただくために、当社では衛生管理を徹底することはもちろん、特許技術による長期常温保存を可能にした「しゃり玉」を外販事業では取扱いしております。

食に関する事業を通じて、地域の子どもたちと従業員、そしてそのご家族の皆様が豊かな気持ちとなっただくことを大切に、地域貢献に努めてまいります。

現状のSDGsに対するマテリアリティ（重要課題）

大項目	マテリアリティ（重要課題）
環境の保全	水質汚染の防止、フードロスの削減
従業員の働きがい	従業員の心の健康保持、障害者雇用の推進
地域社会への貢献	地産・地消の推進、地域のSDGs意識の向上
コンプライアンス・ガバナンス	コンプラ体制の構築

株式会社 宮城総合給食センター SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に、以下のマテリアリティ（重点課題）への取り組みを通じて貢献します。



2022年6月30日

株式会社 宮城総合給食センター
代表取締役 津田孝

マテリアリティ（重要課題）

環境の保全

特許技術を活用した長期保存や適切な在庫管理を通じてフードロス対策に取り組みます。

▼ 目標・取り組み内容

- ・排水時は水質浄化を徹底致します
- ・社内ルールに基づいた廃棄物処理を徹底致します
- ・外販事業においては生産管理を徹底しフードロス対策に取り組みます



従業員の働きがい

全従業員が性別、年齢に関係なく自分の仕事に誇りを持って働ける職場環境を目指します。

▼ 目標・取り組み内容

- ・健康管理チェック表の記入、血圧測定を実施しています
- ・障がい者雇用体制を社員一丸となって整えます
- ・健康診断における再検査受診率100%を達成します



地域社会への貢献

地元食材を活用し安心安全な給食を提供し、地域の子供たちの健康維持に取り組みます。

▼ 目標・取り組み内容

- ・宮城県産品を外販事業に活用します
- ・当社を災害時の避難場所として活用することを目指します



コンプライアンス・ガバナンス

コンプライアンス体制を構築し、法令遵守を徹底します。

▼ 目標・取り組み内容

- ・取引先に対する取り組みは誠実で公正な取引を約束します
- ・緊急時に備えBCP対応の策定に取り組みます

